

岩手県沿岸北部を震源とする地震に係る政府調査団報告

1 概要

平成20年度（2008年）岩手県沿岸北部を震源とする地震に伴い、政府は泉内閣府防災担当大臣を団長とする政府調査団を岩手県及び青森県に派遣し、被害状況及び現地の対応状況等を把握した。

2 調査日

平成20年7月24日（木）

3 調査先

岩手県^{ひろのちょう}洋野町、青森県^{はちのへし}八戸市、青森県^{はしかみちょう}階上町

4 編成

内閣府防災担当大臣 他27名

※ 別紙1 調査団名簿

5 調査の概要

- (1) 岩手県洋野町種市運動場に到着後、洋野町役場に到着し、岩手県総務部長及び洋野町長より県内及び同町内の被災状況について説明を受け、被害状況を調査した。
- (2) その後、青森県階上町栽培漁業センターにおいて被害状況を調査した。
- (3) 更に、青森県八戸市役所に移動し、青森県三八地域民生局長から県内被害状況、八戸副市長から八戸市における被害状況について説明を受け、被害状況を調査した。

※ 別紙2 現地調査行程表

○ 政府調査団名簿（平成20年7月24日（木））

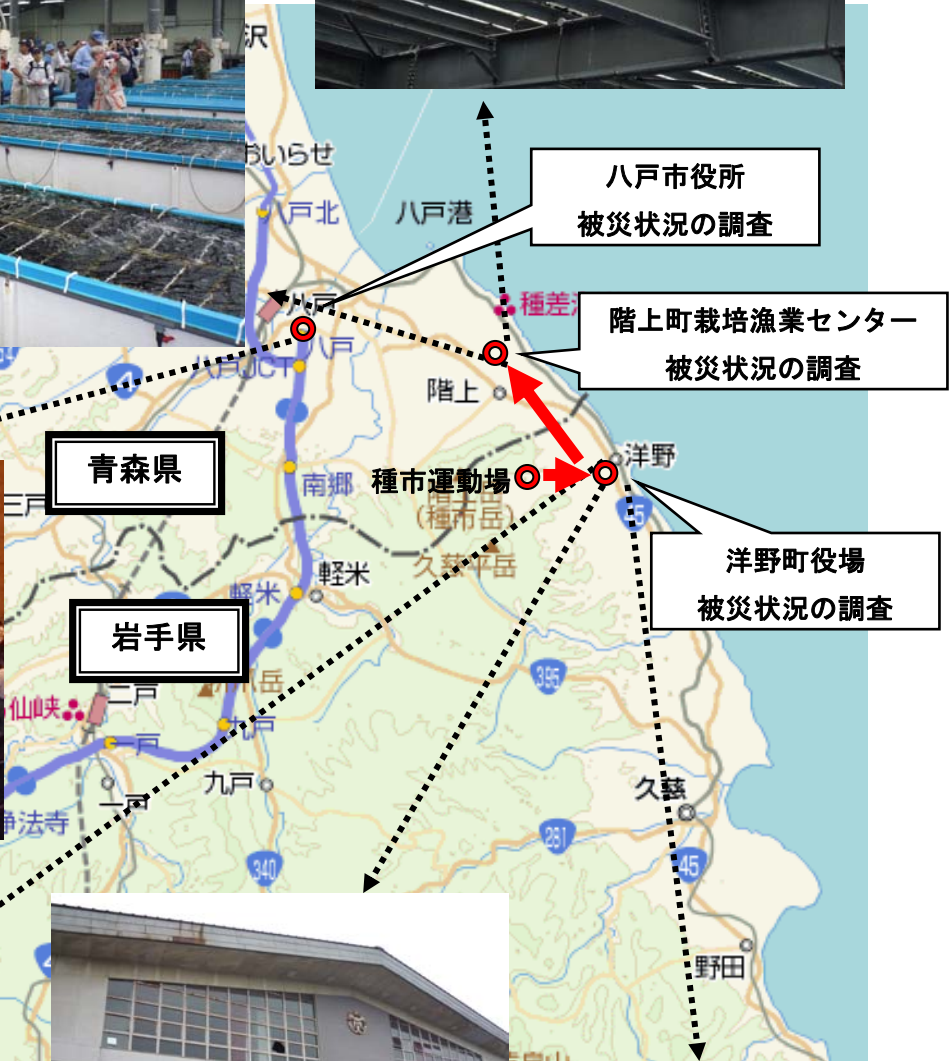
	省庁名	官 職	氏 名
1	内閣府	内閣府防災担当大臣	泉 信也
2	内閣府	大臣秘書官	佐藤 弘之
3	警察庁	大臣秘書官	山本 仁
4	内閣府	大臣警護官	加藤 明人
5	内閣府	大臣官房審議官(防災担当)	田口 尚文
6	内閣府	政策統括官(防災担当)付企画官	太田 秀也
7	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(災害応急対策担当)付	春日 陽一
8	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(災害応急対策担当)付	小屋 林
9	内閣府	原子力安全委員会事務局企画官	海老根 強
10	内閣官房	内閣副長官補(安全保障・危機管理担当)付参事官補佐	藤井 啓之
11	防衛省	運用企画局事態対処課部員	森 浩久
12	防衛省	統合幕僚監部災害派遣班2佐	苔米地 知
13	防衛省	陸上幕僚監部運用支援課2佐	植田 敏博
14	警察庁	警備局警備課災害対策室長	内山 直人
15	総務省	自治財政局財務調査官	関口 勝
16	消防庁	総務課長	長谷川 彰一
17	文部科学省	大臣官房文教施設企画部施設企画課防災推進室室長補佐	大藪 敏晶
18	厚生労働省	社会・援護局総務課災害救助・救護対策室長補佐	橋本 武夫
19	農林水産省	農村振興局防災課災害対策室長	佐藤 勝彦
20	国土交通省	河川局砂防部長	中野 泰雄
21	国土交通省	河川局河川環境課	高村 裕平
22	気象庁	地震火山部地震予知情報課評価解析分析官	斉藤 誠
23	海上保安庁	警備救難部環境防災課防災対策官	前村 伸二
24	国土地理院	地理調査部長	福島 芳和
25	原子力安全・保安院	審議官	平岡 英治
26	原子力安全・保安院	原子力発電安全審査課安全審査官	関 雅之
27	原子力安全・保安院	電力安全課係長	中嶋 正登
28	環境省	大臣官房廃棄物リサイクル対策部	渡辺 隆彦

岩手県沿岸北部を震源とする地震に係る政府調査団派遣日程について

7月24日(木)

日 時	経 路	調査概要等	備 考
3 : 4 3	防衛省A棟ヘリポート 発		ヘリにて移動
3 : 5 7	入間基地 着		
4 : 2 8	入間基地 発		飛行機にて移動
5 : 1 3	松島基地 着		
6 : 5 3	松島基地 発		飛行機にて移動
7 : 3 1	三沢基地 着		移動
7 : 4 5	三沢基地 発		
8 : 0 2	種市運動場 着		ヘリにて移動
8 : 0 5	種市運動場 発		
8 : 1 0	岩手県洋野町役場 着	被害状況報告	
9 : 0 5	岩手県洋野町種市体育館	被害状況調査	車にて移動
9 : 3 0	岩手県洋野町 発		
10 : 3 0	青森県階上町栽培漁業センター 着	被害状況調査	
10 : 4 5	青森県階上町栽培漁業センター 発		
11 : 4 3	青森県八戸市役所 着 公会堂 更上閣別館	被害状況報告 被害状況調査 被害状況調査	
12 : 4 0	青森県八戸市 発	八戸基地、入間基地經由	飛行機、ヘリにて移動
15 : 0 0	防衛省A棟ヘリポート 着		

岩手県沿岸北部を震源とする地震に関する政府調査団の調査状況



岩手県沿岸北部を震源とする地震に関する政府調査団の行程概要

